

# 平成22年度 定期作況報告

(10月20日現在)

北海道立総合研究機構  
農業研究本部畜産試験場

## . 気象概況

9月下旬：気温は平年比-1.0 で平年並だった。降水量は平年比28%でかなり少なかった。日照時間は平年比93%で平年並だった。

10月上旬：気温は平年比+0.5 で平年並だった。降水量は平年比187%でやや多かった。日照時間は平年比79%でやや少なかった。

10月中旬：気温は平年比-0.1 で平年並だった。降水量は平年比110%で平年並だった。日照時間は平年比71%でやや少なかった。

以上のことから、本期間は平年と比較して気温、降水量および日照時間ともに平年並に推移した。

	9月下旬			10月上旬			10月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温( )	11.2	12.2	1.0	11.4	10.9	0.5	8.8	8.9	0.1
最高気温( )	15.4	17.1	1.7	14.7	15.8	1.1	13.1	14.2	1.1
最低気温( )	6.8	7.3	0.5	8.1	6.6	1.5	5.1	3.5	1.6
降水量(mm)	12.0	43.2	31.2	98.5	52.6	45.9	36.0	32.8	3.2
降水日数(日)	2	3.8	1.8	5	4.7	0.3	5	4	1.0
日照時間(時間)	52.3	56.4	4.1	36.0	45.5	9.5	38.5	53.9	15.4

注1) 各数値は旬の平均または合計。 印は減を示す。

注2) 平年値は前10カ年の平均値。

## . 作況

### 1. 牧草

1)チモシー(採草) 作況 3番草：不良

事由：

2, 3年目両草地とも刈り取り時の草丈は平年並であったが、茎数が少なく、両草地を平均した乾物収量の平年比は83であった。このことから、3番草の作況は不良である。

	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
3番草収穫日(月.日)	10.19	10.16	3	10.19	10.16	3
草丈(cm)	41	39	2	42	39	3
生草収量(kg/10a)	518	766	248	628	1156	528
乾物率(%)	29.6	20.6	9.0	31.7	20.3	11.4
乾物収量(kg/10a)	153	202	49	199	222	23
同上指数	76	100		90	100	-
1~3番草通算(kg/10a)	928	1211		979	1072	
同上指数	77	100		91	100	-

注1) 平年値は、2, 3年目草地ともに、前7カ年のうち、最良年(H18)と最不良年(H21)を除く5カ年平均値。

注2) 印は早または減を示す。

2)オーチャードグラス(採草) 作況 4番草:不良

事由 :

2, 3年目草地とも刈り取り時の草丈はほぼ平年並であったが、茎数が少なく、両草地を平均した乾物収量の平年比は91であった。このことから、4番草の作況は不良である。

	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
4番草収穫日(月.日)	10.19	10.17	2	10.19	10.17	2
草丈(cm)	43	33	10	36	30	6
生草収量(kg/10a)	535	874	339	613	814	201
乾物率(%)	23.1	19.4	4	24.0	18.8	5
乾物収量(kg/10a)	123	154	31	147	143	4
同上指数	80	100		103	100	-
1~4番草通算(kg/10a)	1130	1232		1040	1117	
同上指数	92	100		93	100	-

注1) 平年値は、2年目草地が前7カ年のうち、最良年(H15)と最不良年(H21)を除く5カ年平均値。3年目草地が前7カ年のうち、最良年(H15)と最不良年(H20)を除く5カ年平均値。

注2) 印は早または減を示す。

## 2. とうもろこし

作況:良

事由 :

収穫は平年より10日早い9月13日に行い、収穫時の熟度は平年並の黄熟初期であった。総体の生草収量は少なかつたものの、乾物率は高く、乾物収量および推定TDN収量は平年比104、107と平年値を上回った。乾雌穂重割合も平年より高いことから作況は良である。

項目	本年	平年	比較	平年比(%)
収穫期(月日)	9.13	9.23	10	
収穫時熟度	黄熟初期	黄熟初期		
生草収量(kg/10a)				
総体	4812	5773	961	
乾物率(%)				
雌穂	55.9	49.3	6.6	
総体	35.7	28.7	7.0	
乾物収量(kg/10a)				
雌穂	1021	839	182	
総体	1714	1651	63	104
乾雌穂重割合(%)	59.6	50.8	8.8	
推定TDN収量(kg/10a)	1271	1185	86	107

注1) 平年値は前6カ年のうち平成21年(凶年)を除く5カ年の平均値。

注2) 印は早または減を示す。

注3) 供試品種は「チベリウス」。

注4) 推定TDN収量は新得方式(乾雌穂重×0.85+乾茎葉重×0.582)